

# TERG

Discussion Paper No.419

仙台市における未来型医療に関するアンケート調査  
(基本集計結果)

陳 鳳明 吉田 浩

Fengming CHEN and Hiroshi YOSHIDA

February, 2020

TOHOKU ECONOMICS RESEARCH GROUP

---

GRADUATE SCHOOL OF ECONOMICS AND  
MANAGEMENT TOHOKU UNIVERSITY  
27-1 KAWAUCHI, AOBA-KU, SENDAI,  
980-8576 JAPAN

TERG, Discussion Paper No.419

仙台市における未来型医療に関するアンケート調査  
(基本集計結果)

陳 鳳明<sup>†</sup> 吉田 浩<sup>‡</sup>

Fengming CHEN, Hiroshi YOSHIDA

2020. 2 (2020. 3. 18 修正版)

TOHOKU ECONOMICS RESEARCH GROUP

概要

本調査の目的は、未来の社会と医療・福祉に関し、特に仙台市住民の意向を把握することである。調査内容は、AI・ロボットによる医療診断など様々な方面を網羅している。

本調査は仙台市内に居住する予め調査モニターに登録した仙台市民から性・年代・居住地別に均等にサンプルを抽出している。この調査は、訪問留置・訪問回収法により、2020年1月10日から1月31日にかけて、1,000サンプルを得ている。また、調査票の設計や調査の実施などについては東北大学大学院経済学研究科の研究倫理審査委員会の規定に従っている。

本調査は東北大学未来型医療創造卓越大学院プログラムの支援によって行われた。

キーワード：未来型医療、AIによる診断、地域医療、終末期医療、アンケート調査

GRADUATE SCHOOL OF ECONOMICS AND  
MANAGEMENT TOHOKU UNIVERSITY  
27-1 KAWAUCHI, AOBA-KU, SENDAI,  
980-8576 JAPAN

---

<sup>†</sup>東北大学加齢医学研究所 スマート・エイジング学際重点研究センター助教, cfmdbdx@gmail.com

<sup>‡</sup>東北大学経済学研究科 高齢経済社会研究センター 教授, hiroshi.yoshida.e2@tohoku.ac.jp

# 仙台市における未来型医療に関するアンケート調査

## 目次

- A. 全体集計結果
- B. 年齢別集計結果
- C. 男女別集計結果
- D. 医療に関するアンケート調査票

## A. 全体集計結果

Q1. あなたが、未来のあるべき姿と比較して、現在の日本の状況について、ある程度満足に近いレベルまで達成されていると思うものは、どれですか。（〇はいくつでも）

表A1 現在の日本で満足している制度・政策について

Q1	N	%
1. 高齢者福祉	165	16.5
2. I T・通信技術	249	24.9
3. 車の安全運転技術	201	20.1
4. 地球温暖化対策	66	6.6
5. 自然災害に対する防災対策	108	10.8
6. 選挙・政治制度	38	3.8
7. 医療・治療技術	265	26.5
8. 男女平等	83	8.3
9. 子育て支援	98	9.8
10. 裁判制度	33	3.3
11. マスコミの報道姿勢	50	5.0
12. 救急搬送	166	16.6
13. 政府や自治体の情報公開	25	2.5
14. その他【      】	5	0.5
15. 特にない	251	25.1
16. わからない	173	17.3
全体	1,000	100.0

注：表の2列目は、回答者数（人）。3列目は全体に対する比率（%）を表す。

Q2. 今後医療費が増大した場合、健康保険で受けられる医療サービスの水準と、その費用の負担の関係について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。（1つだけ）

表A2 健康保険の受益と負担の関係について

Q2	N	%
----	---	---

1. 今後、多少負担が増えても、現在の健康保険で受けられる医療サービスの水準を維持するべきだ	399	40.3
2. これ以上負担が増えないように、健康保険で受けられる医療サービスの水準をやや抑え気味にするべきだ	250	25.3
3. 負担を低くするために、健康保険で受けられる医療サービスの水準を抑制していくべきだ	113	11.4
4. わからない	228	23.0
全体	990	100.0

注：表の2列目は、回答者数（人）。3列目は全体に対する比率（％）を表す。

Q3. あなたは、今後、社会保障費の増大を抑制するため、政府が取り組みを強化するべきだと思うものはどれですか。（いくつでも）

表A3 政府が強化すべき取り組みについて

Q3	N	%
1. 予防活動や定期的な健康診断の受診など、本人が病気や要介護にならないような行動を評価する制度（健康保険料や介護保険料や自己負担割合の軽減など）	535	53.5
2. 健診を受けない行動、疾病や予防活動を行わない等、病気や要介護を避けようとしないうような行動にペナルティを与える制度（健康・介護保険料の増額や自己負担割合の引き上げなど）	123	12.3
3. 甘味の炭酸飲料や塩分を多く含む加工食品等に対して、疾病予防の見地から税金を課し、それらの食品等の摂取を抑制するように誘導する制度	130	13.0
4. 病院・診療所の治療成績や費用を情報公開し、患者が自分の判断で医療機関を選べるシステムの推進	297	29.7
5. DNAなど遺伝子レベルでの検査や治療の拡大と推進	156	15.6
6. AIやICT技術、ロボット等の導入による、医療・福祉のコンピュータ化、情報化、ロボット化の推進	128	12.8
7. その他【       】	16	1.6
8. 特にない	72	7.2
9. わからない	225	22.5
全体	1,000	100.0

注：表の2列目は、回答者数（人）。3列目は全体に対する比率（％）を表す。

Q4. あなたが、カウンセリングや心理相談など「心の健康」に関する治療や相談について、これまで経験したものはどれですか。（いくつでも）

表A4 心の健康に関する相談・治療の経験について

Q4	N	%
1. 公立の医療機関（病院等）で治療や相談をしたが、ある程度満足であった	40	4.0
2. 公立の医療機関（病院等）で治療や相談をしたが、あまり満足いかなかった	29	2.9
3. 私立の医療機関（病院等）で治療や相談をしたが、ある程度満足であった	37	3.7
4. 公的な医療機関（病院等）で治療や相談をしたが、あまり満足いかなかった	39	3.9
5. 公立の相談機関（センター、相談所）で相談をしたが、ある程度満足であった	14	1.4
6. 公立の相談機関（センター、相談所）で相談をしたが、あまり満足いかなかった	22	2.2
7. 私立や民間の相談機関（センター、相談所）で相談をしたが、ある程度満足であった	19	1.9
8. 私立の民間の相談機関（センター、相談所）で相談をしたが、あまり満足いかなかった	14	1.4
9. これまで、カウンセリングや心理相談など「心の健康」に関する治療や相談は、受けたことはない	846	84.6
全体	1,000	100.0

注：表の2列目は、回答者数（人）。3列目は全体に対する比率（%）を表す。

Q5. あなたは、以下にあげる健康法や病気の治療法に関する情報源で、ある程度信用している情報源はどれですか。（いくつでも）

表A5 信用している情報源について

Q5	N	%
1. NHKで放送されるテレビ・ラジオの健康番組での健康法や病気の治療法に関する情報	418	41.8
2. 民法番組で放送されるテレビ・ラジオの健康番組での健康法や病気の治療法に関する情報	364	36.4
3. 新聞の健康法や病気の治療法に関する情報記事	345	34.5
4. 一般の雑誌・週刊誌などの健康法や病気の治療法に関する情報記事	138	13.8
5. 健康専門雑誌の健康法や病気の治療法に関する情報記事	181	18.1
6. 医師が執筆した健康法や病気の治療法に関する書籍	211	21.1
7. 一般の経験者が執筆した健康法や病気の治療法に関する書籍	67	6.7
8. インターネット上の健康法や病気の治療法に関する情報（厚生労働省や専門機関の示すもの）	210	21.0
9. インターネット上の健康法や病気の治療法に関する情報（民間企業の示すもの）	81	8.1
10. インターネット上の健康法や病気の治療法に関する情報（個人のブログやSNSで発信されるもの）	72	7.2
11. 友人や知人の口コミでの健康法や治療法の情報	129	12.9
12. 広告やチラシ、DMによって提供される健康法や病気の治療法に関する情報	49	4.9
13. その他【       】	6	0.6

14. 特にない	278	27.8
全体	1,000	100.0

注：表の2列目は、回答者数（人）。3列目は全体に対する比率（％）を表す。

Q6. ガンや難病などに関して、いわゆる代替療法や民間療法（自宅で独自に食材摂取や手当を行うこと）について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（1つだけ）

表A6 代替医療や民間療法に関する考えについて

Q6	N	%
1. 代替療法や民間療法は根拠が希薄で、自分なら選択しないと思う	257	25.9
2. 代替療法や民間療法は根拠が希薄だが、自分なら選択するかもしれない	83	8.4
3. 代替療法や民間療法はそれなりに効果を経験した人がいると思うので、自分なら選択するかもしれない	76	7.7
4. 代替療法や民間療法にはまだ医学では解明できない有効な効果が含まれていると思うので、自分なら選択すると思う	32	3.2
5. わからない	422	42.5
6. 特にない	123	12.4
全体	993	100.0

注：表の2列目は、回答者数（人）。3列目は全体に対する比率（％）を表す。

Q7. 未来型の医療として、あなたがイメージできるのは、次のうちどれですか。

表A7 未来型医療のイメージについて

Q7	N	%
1. 待ち時間ゼロでいつでも受診できる医療機関	383	38.3
2. 全く家から出なくとも、精密な検査や診療、治療が受けられること	222	22.2
3. 治療や手術などの期間や時間が大幅に短縮されること（1回や1日で完治など）	352	35.2
4. 治療や手術、検査などで全く痛みを感じないようにできること	378	37.8
5. 自分の遺伝子から健康な臓器を複製し、病気になった部分と差し替えることができること	246	24.6
6. 常に日常生活の中から身体情報を収集し、自覚症状が出る前に疾病の警告が得られること	214	21.4
7. 老化をコントロールし、長期間にわたって若々しい身体の状態が維持される技術	195	19.5
8. 視力や聴力、筋力を代替する超小型ハイテク機器を身体に埋め込む技術	140	14.0
9. 人に代わって、AIやロボットが診察する病院の登場	116	11.6

10. 病院ではなく自宅で、自分で治療を行うことができる機器の登場	120	12.0
11. その他【       】	6	0.6
12. 特にない	68	6.8
13. わからない	157	15.7
全体	1,000	100.0

注：表の2列目は、回答者数（人）。3列目は全体に対する比率（％）を表す。

Q8. 医療技術や製薬技術の進歩のために、あなたの体の情報や診療・検査結果のデータを第三者が利用することについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（1つだけ）

表A8 医療データの第三者利用について

Q8	N	%
1. 個人が特定されないのであれば、予め同意がなくともDNA（遺伝子）情報を含む様々なデータを自由に使って、医療・製薬技術の開発に利用してもよいと思う。	138	14.0
2. 個人が特定されないのであれば、予め同意をしたもとで、DNA（遺伝子）情報を含む様々なデータを自由に使って、医療・製薬技術の開発に利用してもよいと思う。	230	23.3
3. 個人が特定されないのであれば、DNA（遺伝子）情報以外ならば、予め同意がなくとも自由に使って、医療・製薬技術の開発に利用してもよいと思う。	49	5.0
4. 個人が特定されないのであれば、DNA（遺伝子）情報以外ならば、予め同意をしたもとで、自由に使って、医療製薬技術の開発に利用してもよいと思う。	105	10.6
5. 例え個人が特定されなくとも、個人の身体、治療にかかわるデータを第三者が利用することには反対である。	109	11.0
6. 特にない	79	8.0
7. わからない	277	28.1
全体	987	100.0

注：表の2列目は、回答者数（人）。3列目は全体に対する比率（％）を表す。

Q9. AI（人工知能）による医療診断について、あなたの考えに近い（ある程度以上同意する）ものはどれですか。（いくつでも）

表A9 AIによる医療診断について

Q9	N	%
1. 根拠が明示され、結果に納得ができる	136	13.6
2. 待ち時間のストレスを緩和できる	240	24.0
3. 治療時間の短縮化が期待できる	260	26.0
4. 金銭的コストを改善できる	174	17.4
5. 人手不足の問題を解消できる	369	36.9
6. 地域格差の問題を解消できる	164	16.4



7. 間違った診断で不快にならなくて済む	85	8.5
8. 診断に対しての責任の所在に不安を感じる	223	22.3
9. 自分の感情や状況を理解してもらえないと思えない	237	23.7
10. 複雑な症例は診断しきれないと思う	221	22.1
11. 医師がA Iに依存して本来の役割を果たせなくなる	165	16.5
12. 医師が人工知能を使いこなせないと思う	83	8.3
13. その他【       】	5	0.5
14. 特にない	42	4.2
15. わからない	255	25.5
全体	1,000	100.0

注：表の2列目は、回答者数（人）。3列目は全体に対する比率（%）を表す。

Q10. あなたが、次のなかで、A I（人工知能）やロボットに任せてもよいと思う診療行為はどれですか。（いくつでも）

表A10 A Iに任せてもよい診療行為について

Q10	N	%
1. 症状から訪れるべき医療機関や診療科の選択や候補の提示	376	37.6
2. 初診や再診の予約の受付	552	55.2
3. 初診の際の問診	259	25.9
4. 身長、体重、血圧、視力、聴力、心拍数、体温の測定など	573	57.3
5. 処方箋に基づく調剤や薬の給付	187	18.7
6. 診療や投薬の代金支払いの会計	350	35.0
7. 健康診断書や診療内容の証明書の発行	316	31.6
8. 一般の健康診断の結果の分析と本人への告知・説明と保健指導	91	9.1
9. 患者からの病状や治療方針等の質問・相談に対する回答	53	5.3
10. 入院時の病室の巡回、体温測定、病状の確認	89	8.9
11. レントゲンの撮影	171	17.1
12. 採血	49	4.9
13. 注射や点滴	31	3.1
14. 歯科治療	14	1.4
15. 外科手術（開腹を伴うもの）	19	1.9
16. 死亡の判定	17	1.7
17. ガンの告知と治療方針の説明	22	2.2
18. その他【       】	8	0.8
19. 特にない	61	6.1

20. わからない	165	16.5
全体	1,000	100.0

注：表の2列目は、回答者数（人）。3列目は全体に対する比率（％）を表す。

Q11. 昨年のお宅の世帯年収は、合計でいくらぐらいですか。（○は1つだけ）

表 A11 昨年のお宅の世帯年収について

Q11	N	%
1. 200万円未満	97	10.3
2. 200～400万円未満	331	35.3
3. 400～600万円未満	263	28.0
4. 600～800万円未満	133	14.2
5. 800～1,000万円未満	70	7.5
6. 1,000万円以上	22	2.4
7. 1000～1,500万円未満	14	1.5
8. 1,500万円以上	8	0.9
全体	938	100.0

注：表の2列目は、回答者数（人）。3列目は全体に対する比率（％）を表す。

Q12. あなたの現在の健康状態はいかがですか。（1つだけ）

表A12 現在の健康状態について

Q12	全体	1. よい	2. まあよい	3. ふつう	4. あまりよくない	5. よくない
N	952	115	224	492	108	13
%	100.0	12.1	23.5	51.7	11.3	1.4

## B. 年齢別集計結果

Q1. あなたが、未来のあるべき姿と比較して、現在の日本の状況について、ある程度満足に近いレベルまで達成されていると思うものは、どれですか。（いくつでも）

表B1 現在の日本で満足している制度・政策について

Q1		全体	1. 高齢者福祉	2. IT・通信技術	3. 車の安全運転技術	4. 地球温暖化対策	5. 自然災害に対する防災対策	6. 選挙・政治制度	7. 医療・治療技術	8. 男女平等	
年齢	全体	N	1,000	165	249	201	66	108	38	265	83
		%	100.0	16.5	24.9	20.1	6.6	10.8	3.8	26.5	8.3
	20代	N	200	25	54	38	12	20	3	37	20
		%	100.0	12.5	27.0	19.0	6.0	10.0	1.5	18.5	10.0
	30代	N	200	21	54	42	9	21	6	52	9
		%	100.0	10.5	27.0	21.0	4.5	10.5	3.0	26.0	4.5
	40代	N	200	37	50	49	13	18	12	54	18
		%	100.0	18.5	25.0	24.5	6.5	9.0	6.0	27.0	9.0
	50代	N	200	43	47	39	16	23	6	55	15
		%	100.0	21.5	23.5	19.5	8.0	11.5	3.0	27.5	7.5
	60代	N	200	39	44	33	16	26	11	67	21
		%	100.0	19.5	22.0	16.5	8.0	13.0	5.5	33.5	10.5

Q1(続き)		全体	9. 子育て支援	10. 裁判制度	11. マスコミの報道姿勢	12. 救急搬送	13. 政府や自治体の情報公開	14. その他	15. 特にない	16. わからない	
年齢	全体	N	1,000	98	33	50	166	25	5	251	173
		%	100.0	9.8	3.3	5.0	16.6	2.5	0.5	25.1	17.3
	20代	N	200	21	2	8	22	3	2	53	43
		%	100.0	10.5	1.0	4.0	11.0	1.5	1.0	26.5	21.5
	30代	N	200	11	7	7	33	4	0	59	26
		%	100.0	5.5	3.5	3.5	16.5	2.0	0.0	29.5	13.0
	40代	N	200	21	11	7	27	7	1	47	40
		%	100.0	10.5	5.5	3.5	13.5	3.5	0.5	23.5	20.0

50代	N	200	20	6	10	37	5	0	44	28
	%	100.0	10.0	3.0	5.0	18.5	2.5	0.0	22.0	14.0
60代	N	200	25	7	18	47	6	2	48	36
	%	100.0	12.5	3.5	9.0	23.5	3.0	1.0	24.0	18.0

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q2. 今後医療費が増大した場合、健康保険で受けられる医療サービスの水準と、その費用の負担の関係について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。（1つだけ）

表B2 健康保険の受益と負担の関係について

Q2		全体	1. 今後、多少負担が増えても、現在の健康保険で受けられる医療サービスの水準を維持すべきだ	2. これ以上負担が増えないように、健康保険で受けられる医療サービスの水準をやや抑え気味にするべきだ	3. 負担を低くするために、健康保険で受けられる医療サービスの水準を抑制していくべきだ	4. わからない	
年齢	全体	N	990	399	250	113	228
		%	100.0	40.3	25.3	11.4	23.0
	20代	N	199	71	37	23	68
		%	100.0	35.7	18.6	11.6	34.2
	30代	N	197	71	52	25	49
		%	100.0	36.0	26.4	12.7	24.9
	40代	N	198	85	58	21	34
		%	100.0	42.9	29.3	10.6	17.2
	50代	N	198	87	54	17	40
		%	100.0	43.9	27.3	8.6	20.2
	60代	N	198	85	49	27	37
		%	100.0	42.9	24.8	13.6	18.7

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q3. あなたは、今後、社会保障費の増大を抑制するため、政府が取り組みを強化するべきだと思うものはどれですか。（いくつでも）

表B3 政府が強化すべき取り組みについて

Q3	全体			1. 予防活動や定期的な健康診断の受診など、本人が病気や要介護にならないような行動を評価する制度（健康保険料や介護保険料や自己負担割合の軽減など）	2. 健診を受けない行動、疾病や予防活動を行わない等、病気や要介護を避けようとする行動にペナルティを与える制度（健康・介護保険料の増額や自己負担割合の引き上げなど）	3. 甘味の炭酸飲料や塩分を多く含む加工食品等に対して、疾病予防の見地から税金を課し、それらの食品等の摂取を抑制するように誘導する制度	4. 病院・診療所の治療成績や費用を情報公開し、患者が自分の判断で医療機関を選べるシステムの推進	5. DNAなど遺伝子レベルでの検査や治療の拡大と推進	6. AIやICT技術、ロボット等の導入による、医療・福祉のコンピュータ化、情報化、ロボット化の推進	7. その他	8. 特になし	9. わからぬ
	全	N	1,000	535	123	130	297	156	128	16	72	225
体	%		100.0	53.5	12.3	13.0	29.7	15.6	12.8	1.6	7.2	22.5
年齢	20	N	200	88	26	22	47	34	27	4	15	65
	代	%	100.0	44.0	13.0	11.0	23.5	17.0	13.5	2.0	7.5	32.5
	30	N	200	103	30	18	63	42	32	3	16	35
	代	%	100.0	51.5	15.0	9.0	31.5	21.0	16.0	1.5	8.0	17.5
	40	N	200	111	30	30	58	32	27	4	14	33
	代	%	100.0	55.5	15.0	15.0	29.0	16.0	13.5	2.0	7.0	16.5
	50	N	200	118	18	26	65	28	21	1	11	47
	代	%	100.0	59.0	9.0	13.0	32.5	14.0	10.5	0.5	5.5	23.5
	60	N	200	115	19	34	64	20	21	4	16	45
	代	%	100.0	57.5	9.5	17.0	32.0	10.0	10.5	2.0	8.0	22.5

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q4. あなたが、カウンセリングや心理相談など「心の健康」に関する治療や相談について、これまでもっとも経験したものはどれですか。（いくつでも）

表B4 心の健康に関する相談・治療の経験について

Q4	全体	1. 公	2. 公	3. 私	4. 公	5. 公	6. 公	7. 私	8. 私	9. これ
		立の医療機関	立の医療機関	立の医療機関	的な医療機関	立の相談機関	立の相談機関	立や民間の相	立の民間の相	まで、カウンセリング

			(病院等)で治療や相談をしたが、ある程度満足であった	(病院等)で治療や相談をしたが、あまり満足できなかった	(病院等)で治療や相談をしたが、ある程度満足であった	(病院等)で治療や相談をしたが、あまり満足できなかった	(センター、相談所)で相談をしたが、ある程度満足であった	(センター、相談所)で相談をしたが、あまり満足できなかった	機関(センター、相談所)で相談をしたが、ある程度満足であった	機関(センター、相談所)で相談をしたが、あまり満足できなかった	グや心理相談など「心の健康」に関する治療や相談は、受けたことはない		
年齢	全体	N	1,000	40	29	37	39	14	22	19	14	846	
		%	100.0	4.0	2.9	3.7	3.9	1.4	2.2	1.9	1.4	84.6	
	20代	N	200	9	5	4	7	5	1	2	2	1	177
		%	100.0	4.5	2.5	2.0	3.5	2.5	0.5	1.0	0.5	0.5	88.5
	30代	N	200	9	4	5	6	1	3	5	5	5	165
		%	100.0	4.5	2.0	2.5	3.0	0.5	1.5	2.5	2.5	2.5	82.5
	40代	N	200	8	10	9	7	2	5	4	4	1	166
		%	100.0	4.0	5.0	4.5	3.5	1.00	2.5	2.0	2.0	0.5	83.0
	50代	N	200	9	2	10	8	5	4	4	4	4	171
		%	100.0	4.5	1.0	5.0	4.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	85.5
	60代	N	200	5	8	9	11	1	9	4	4	3	167
		%	100.0	2.5	4.0	4.5	5.5	0.5	4.5	2.0	2.0	1.5	83.5

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q5. あなたは、以下にあげる健康法や病気の治療法に関する情報源で、ある程度信用している情報源はどれですか。（いくつでも）

表B5 信用している情報源について

Q5	全体	1. NHKで放送されるテレビ・ラジオの健康番組での健康	2. 民法番組で放送されるテレビ・ラジオの健康番組での健	3. 新聞の健康法や病気の治療法に	4. 一般の雑誌・週刊誌などの健康法や病気の治	5. 健康専門雑誌の健康法や病気の治療法に関	6. 医師が執筆した健康法や病気の	7. 一般の経験者が執筆した健康法や病気の治
----	----	------------------------------	------------------------------	-------------------	-------------------------	------------------------	-------------------	------------------------

				法や病気の 治療法に関 する情報	療法や病気 の治療法に 関する情報	関する 情報記 事	療法に関 する情報 記事	する情報 記事	治療法 に関する 書籍	療法に関 する書籍
年 齢	全 体	N	1,000	418	364	345	138	181	211	67
		%	100.0	41.8	36.4	34.5	13.8	18.1	21.1	6.7
	20 代	N	200	53	53	35	24	28	37	13
		%	100.0	26.5	26.5	17.5	12.0	14.0	18.5	6.5
	30 代	N	200	71	76	65	28	36	46	16
		%	100.0	35.5	38.0	32.5	14.0	18.0	23.0	8.0
	40 代	N	200	88	70	78	41	35	47	18
		%	100.0	44.0	35.0	39.0	20.5	17.5	23.5	9.0
	50 代	N	200	106	85	85	21	44	44	10
		%	100.0	53.0	42.5	42.5	10.5	22.0	22.0	5.0
	60 代	N	200	100	80	82	24	38	37	10
		%	100.0	50.0	40.0	41.0	12.0	19.0	18.5	5.0

Q5(続き)			全体	8. インターネ ット上の健康 法や病気の治 療法に関する 情報(厚生労 働省や専門機 関の示すも の)	9. インター ネット上の 健康法や病 気の治療法 に関する情 報(民間企業 の示すもの)	10. インター ネット上の健 康法や病気 の治療法に関 する情報(個人 のブログやS NSで発信さ れるもの)	11. 友人 や知人の 口コミで の健康法 や治療法 の情報	12. 広告や チラシ、D Mによって 提供される 健康法や病 気の治療法 に関する情 報	13. そ の 他	14. 特 に ない
年 齢	全 体	N	1,000	210	81	72	129	49	6	278
		%	100.0	21.0	8.1	7.2	12.9	4.9	0.6	27.8
	20 代	N	200	49	24	23	10	4	2	78
		%	100.0	24.5	12.0	11.5	5.0	2.0	1.0	39.0
	30 代	N	200	47	17	18	28	7	1	56
		%	100.0	23.5	8.5	9.0	14.0	3.5	0.5	28.0
	40 代	N	200	44	20	16	30	11	1	49
		%	100.0	22.0	10.0	8.0	15.0	5.5	0.5	24.5
	50 代	N	200	42	14	9	24	9	1	46
		%	100.0	21.0	7.0	4.5	12.0	4.5	0.5	23.0
		N	200	28	6	6	37	18	1	49

60代	%	100.0	14.0	3.0	3.0	18.5	9.0	0.5	24.5
-----	---	-------	------	-----	-----	------	-----	-----	------

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q6. ガンや難病などに関して、いわゆる代替療法や民間療法（自宅で独自に食材摂取や手当を行うこと）について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（1つだけ）

表B6 代替医療や民間療法に関する考えについて

Q6		全体		1. 代替療法 や民間療法 は根拠が希 薄で、自分 なら選択し ないと思う	2. 代替療法 や民間療法 は根拠が希 薄だが、自 分なら選択 するかもしれ ない	3. 代替療法 や民間療法 はそれなり に効果を経 験した人が いると思う ので、自分 なら選択す るかもしれな い	4. 代替療法や 民間療法には まだ医学では 解明できない 有効な効果が 含まれている と思うので、 自分なら選択 すると思う	5. わ から ない	6. 特 にな い
年 齢	全 体	N	993	257	83	76	32	422	123
		%	100.0	25.9	8.4	7.7	3.2	42.5	12.4
	20 代	N	200	45	18	14	4	82	37
		%	100.0	22.5	9.0	7.0	2.0	41.0	18.5
	30 代	N	200	56	22	11	5	82	24
		%	100.0	28.0	11.0	5.5	2.5	41.0	12.0
	40 代	N	197	53	17	20	8	81	18
		%	100.0	26.9	8.6	10.2	4.1	41.1	9.1
	50 代	N	197	52	21	14	7	84	19
		%	100.0	26.4	10.7	7.1	3.6	42.6	9.6
	60 代	N	199	51	5	17	8	93	25
		%	100.0	25.6	2.5	8.5	4.0	46.7	12.6

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q7. 未来型の医療として、あなたがイメージできるのは、次のうちどれですか。

表B7 未来型医療のイメージについて



Q7			全体	1. 待ち時間ゼロでいつでも受診できる医療機関	2. 全く家から出なくとも、精密な検査や診療、治療が受けられること	3. 治療や手術などの期間や時間が大幅に短縮されること（1回や1日で完治など）	4. 治療や手術、検査などで全く痛みを感じないようにできること	5. 自分の遺伝子から健康な臓器を複製し、病気になった部分と差し替えることができること	6. 常に日常生活の中から身体の情報収集し、自覚症状が出る前に疾病の警告が得られること	7. 老化をコントロールし、長期間にわたって若々しい身体の状態が維持される技術
				全体	N	1,000	383	222	352	378
年齢	全体	%	100.0	38.3	22.2	35.2	37.8	24.6	21.4	19.5
		20代	N	200	61	45	61	70	42	42
	20代	%	100.0	30.5	22.5	30.5	35.0	21.0	21.0	14.0
		30代	N	200	64	44	78	85	51	45
	30代	%	100.0	32.0	22.0	39.0	42.5	25.5	22.5	22.5
		40代	N	200	82	54	71	63	53	46
	40代	%	100.0	41.0	27.0	35.5	31.5	26.5	23.0	22.0
		50代	N	200	82	43	74	74	52	40
	50代	%	100.0	41.0	21.5	37.0	37.0	26.0	20.0	19.0
		60代	N	200	94	36	68	86	48	41
	60代	%	100.0	47.0	18.0	34.0	43.0	24.0	20.5	20.0

Q7(続き)			全体	8. 視力や聴力、筋力を代替する超小型ハイテク機器を身体に埋め込む技術	9. 人に代わって、AIやロボットが診察する病院の登場	10. 病院ではなく自宅で、自分で治療を行うことができる機器の登場	11. その他	12. 特にない	13. わからない
年齢	全体	N	1,000	140	116	120	6	68	157
		%	100.0	14.0	11.6	12.0	0.6	6.8	15.7
	20代	N	200	29	29	20	2	16	49
		%	100.0	14.5	14.5	10.0	1.0	8.0	24.5
	30代	N	200	27	36	29	1	15	26
		%	100.0	13.5	18.0	14.5	0.5	7.5	13.0
		N	200	35	22	30	1	10	27

40代	%	100.0	17.5	11.0	15.0	0.5	5.0	13.5
	N	200	30	17	19	0	12	28
50代	%	100.0	15.0	8.5	9.5	0.0	6.0	14.0
	N	200	19	12	22	2	15	27
60代	%	100.0	9.5	6.0	11.0	1.0	7.5	13.5

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q8. 医療技術や製薬技術の進歩のために、あなたの体の情報や診療・検査結果のデータを第三者が利用することについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（1つだけ）

表B8 医療データの第三者利用について

Q8		全体	1. 個人が特定されないのであれば、予め同意がなくてもDNA（遺伝子）情報を含む様々なデータを自由に使って、医療・製薬技術の開発に利用してもよいと思う。	2. 個人が特定されないのであれば、予め同意をしたもとで、DNA（遺伝子）情報を含む様々なデータを自由に使って、医療・製薬技術の開発に利用してもよいと思う。	3. 個人が特定されないのであれば、DNA（遺伝子）情報以外ならば、予め同意がなくても自由に使って、医療・製薬技術の開発に利用してもよいと思う。	4. 個人が特定されないのであれば、DNA（遺伝子）情報以外ならば、予め同意をしたもとで、自由に使って、医療製薬技術の開発に利用してもよいと思う。	5. 例えば個人が特定されなくとも、個人の身体、治療にかかわるデータを第三者が利用することには反対である。	6. 特にな	7. わからない	
年齢	全	N	987	138	230	49	105	109	79	277
	体	%	100.0	14.0	23.3	5.0	10.6	11.0	8.0	28.1
	20代	N	200	30	48	15	11	17	13	66
		%	100.0	15.0	24.0	7.5	5.5	8.5	6.5	33.0
	30代	N	198	27	55	11	25	20	12	48
		%	100.0	13.6	27.8	5.6	12.6	10.1	6.1	24.2
	N	196	26	47	7	29	28	14	45	

40代	%	100.0	13.3	24.0	3.6	14.8	14.3	7.1	23.0
	N	198	31	39	8	20	24	20	56
50代	%	100.0	15.7	19.7	4.0	10.1	12.1	10.1	28.3
	N	195	24	41	8	20	20	20	62
60代	%	100.0	12.3	21.0	4.1	10.3	10.3	10.3	31.8
	N								

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q9. AI（人工知能）による医療診断について、あなたの考えに近い（ある程度以上同意する）ものはどれですか。（いくつでも）

表B9 AIによる医療診断について

Q9		全体	1. 根拠が明示され、結果に納得ができる	2. 待ち時間のストレスを緩和できる	3. 治療時間の短縮化が期待できる	4. 金銭的コストを改善できる	5. 人手不足の問題を解消できる	6. 地域格差の問題を解消できる	7. 間違った診断で不快にならなくて済む	8. 診断に対する責任の所在に不安を感じる	
年齢	全体	N	1,000	136	240	260	174	369	164	85	223
		%	100.0	13.6	24.0	26.0	17.4	36.9	16.4	8.5	22.3
	20代	N	200	26	51	44	35	77	22	13	31
		%	100.0	13.0	25.5	22.0	17.5	38.5	11.0	6.5	15.5
	30代	N	200	23	52	55	33	88	48	19	57
		%	100.0	11.5	26.0	27.5	16.5	44.0	24.0	9.5	28.5
	40代	N	200	26	57	55	42	88	42	19	48
		%	100.0	13.0	28.5	27.5	21.0	44.0	21.0	9.5	24.0
	50代	N	200	29	41	44	30	61	25	18	45
		%	100.0	14.5	20.5	22.0	15.0	30.5	12.5	9.0	22.5
	60代	N	200	32	39	62	34	55	27	16	42
		%	100.0	16.0	19.5	31.0	17.0	27.5	13.5	8.0	21.0

Q9(続き)	全体	9. 自分の感情や状況を理解してもらえないと思えない	10. 複雑な症例は診断しきれないと思う	11. 医師がAIに依存して本来の役割を果たせなくなる	12. 医師が人工知能を使いこなせないと思う	13. その他	14. 特にない	15. わからない

年齢	全体	N	1,000	237	221	165	83	5	42	255
		%	100.0	23.7	22.1	16.5	8.3	0.5	4.2	25.5
	20代	N	200	35	39	25	20	2	4	61
		%	100.0	17.5	19.5	12.5	10.0	1.0	2.0	30.5
	30代	N	200	57	50	37	16	1	7	43
		%	100.0	28.5	25.0	18.5	8.0	0.5	3.5	21.5
	40代	N	200	49	45	31	15	0	5	40
		%	100.0	24.5	22.5	15.5	7.5	0.0	2.5	20.0
	50代	N	200	45	43	40	10	0	10	55
		%	100.0	22.5	21.5	20.0	5.0	0.0	5.0	27.5
	60代	N	200	51	44	32	22	2	16	56
		%	100.0	25.5	22.0	16.0	11.0	1.0	8.0	28.0

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q10. あなたが、次のなかで、A I（人工知能）やロボットに任せてもよいと思う診療行為はどれですか。（いくつでも）

表B10 A Iに任せてもよい診療行為について

Q10		全体	1. 症状から訪れるべき医療機関や診療科の選択や候補の提示	2. 初診や再診の予約の受付	3. 初診の際の問診	4. 身長、体重、血圧、視力、聴力、心拍数、体温などの測定	5. 処方箋に基づく調剤や薬の給付	6. 診療や投薬の代金の支払いの会計	7. 健康診断書や診療内容の証明書の発行	
年齢	全体	N	1,000	376	552	259	573	187	350	316
		%	100.0	37.6	55.2	25.9	57.3	18.7	35.0	31.6
	20代	N	200	64	91	43	111	37	64	51
		%	100.0	32.0	45.5	21.5	55.5	18.5	32.0	25.5
	30代	N	200	83	121	60	117	45	82	76
		%	100.0	41.5	60.5	30.0	58.5	22.5	41.0	38.0
	40代	N	200	80	120	57	123	40	74	73
		%	100.0	40.0	60.0	28.5	61.5	20.0	37.0	36.5
	50代	N	200	74	113	47	112	33	69	54
		%	100.0	37.0	56.5	23.5	56.0	16.5	34.5	27.0
	60代	N	200	75	107	52	110	32	61	62
		%	100.0	37.5	53.5	26.0	55.0	16.0	30.5	31.0

Q10(続き)		全体		8. 一般の健康診断の結果の分析と本人への告知・説明と保健指導	9. 患者からの病状や治療方針等の質問・相談に対する回答	10. 入院時の病室の巡回、体温測定、病状の確認	11. レントゲンの撮影	12. 採血	13. 注射や点滴	14. 歯科治療
年齢	全体	N	1,000	91	53	89	171	49	31	14
		%	100.0	9.1	5.3	8.9	17.1	4.9	3.1	1.4
	20代	N	200	16	13	15	31	12	10	3
		%	100.0	8.0	6.5	7.5	15.5	6.0	5.0	1.5
	30代	N	200	20	10	17	35	10	6	3
		%	100.0	10.0	5.0	8.5	17.5	5.0	3.0	1.5
	40代	N	200	22	10	18	44	8	6	6
		%	100.0	11.0	5.0	9.0	22.0	4.0	3.0	3.0
	50代	N	200	11	7	14	33	8	6	1
		%	100.0	5.5	3.5	7.0	16.5	4.0	3.0	0.5
	60代	N	200	22	13	25	28	11	3	1
		%	100.0	11.0	6.5	12.5	14.0	5.5	1.5	0.5

Q10(続き)		全体		15. 外科手術(開腹を伴うもの)	16. 死亡の判定	17. ガンの告知と治療方針の説明	18. その他	19. 特にない	20. わからない
年齢	全体	N	1,000	19	17	22	8	61	165
		%	100.0	1.9	1.7	2.2	0.8	6.1	16.5
	20代	N	200	4	6	6	3	14	41
		%	100.0	2.0	3.0	3.0	1.5	7.0	20.5
	30代	N	200	5	3	2	1	9	34
		%	100.0	2.5	1.5	1.0	0.5	4.5	17.0
	40代	N	200	7	6	7	2	10	22
		%	100.0	3.5	3.0	3.5	1.0	5.0	11.0
	50代	N	200	2	0	3	1	13	29
		%	100.0	1.0	0.0	1.5	0.5	6.5	14.5
	60代	N	200	1	2	4	1	15	39
		%	100.0	0.5	1.0	2.0	0.5	7.5	19.5

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q11. 昨年のお宅の世帯年収は、合計でいくらぐらいですか。（○は1つだけ）

表 B11 昨年のお宅の世帯年収について

Q11		全体	1. 200 万円未満	2. 200 ～ 400 万円未満	3. 400 ～ 600 万円未満	4. 600 ～ 800 万円未満	5. 800 ～ 1,000 万円未満	6. 1,000 万円以上	7. 1,000 ～ 1,500 万円未満	8. 1,500 万円以上	
年齢	全体	N	938	97	331	263	133	70	22	2	8
		%	100.0	10.3	35.3	28.0	14.2	7.5	2.4	1.1	0.9
	20代	N	189	22	71	55	18	14	6	0	1
		%	100.0	11.6	37.6	29.1	9.5	7.4	3.2	0.0	0.5
	30代	N	191	21	49	76	31	11	3	2	0
		%	100.0	11.0	25.7	39.8	16.2	5.8	1.6	1.1	0.0
	40代	N	189	12	49	52	45	20	5	7	4
		%	100.0	6.4	25.9	27.5	23.8	10.6	2.7	3.7	2.1
	50代	N	191	14	70	46	29	18	5	3	2
		%	100.0	7.3	36.7	24.1	15.2	9.4	2.6	1.7	1.1
	60代	N	178	28	92	34	10	7	3	14	1
		%	100.0	15.7	51.7	19.1	5.6	3.9	1.7	1.5	0.6

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す

Q12. あなたの現在の健康状態はいかがですか。（1つだけ）

表B12 現在の健康状態について

Q12		全体	1. よい	2. まあよい	3. ふつう	4. あまりよくない	5. よくない	
年齢	全体	N	952	115	224	492	108	13
		%	1,000	12.1	23.5	51.7	11.3	1.4
	20代	N	190	35	47	90	16	2
		%	100.0	18.4	24.7	47.4	8.4	1.1
	30代	N	189	29	37	96	26	1
		%	100.0	15.3	19.6	50.8	13.8	0.5
	40代	N	190	24	53	89	18	6
		%	100.0	12.6	27.9	46.8	9.5	3.2
	50代	N	193	11	50	97	32	3
		%	100.0	5.7	25.9	50.2	16.6	1.6
	60代	N	190	16	37	120	16	1
		%	100.0	8.4	19.5	63.2	8.4	0.5

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

## C. 男女別集計結果

Q1. あなたが、未来のあるべき姿と比較して、現在の日本の状況について、ある程度満足に近いレベルまで達成されていると思うものは、どれですか。（いくつでも）

表C1 現在の日本で満足している制度・政策について

Q1	全体	1. 高齢者福祉	2. IT・通信技術	3. 車の安全運転技術	4. 地球温暖化対策	5. 自然災害に対する防災対策	6. 選挙・政治制度	7. 医療・治療技術	8. 男女平等
		全体	N 1,000 % 100.0	165 16.5	249 24.9	201 20.1	66 6.6	108 10.8	38 3.8
男性	N 500 % 100.0	78 15.6	131 26.2	113 22.6	33 6.6	52 10.4	27 5.4	127 25.4	46 9.2
	女性	N 500 % 100.0	87 17.4	118 23.6	88 17.6	33 6.6	56 11.2	11 2.2	138 27.6

Q1(続き)	全体	9. 子育て支援	10. 裁判制度	11. マスコミの報道姿勢	12. 救急搬送	13. 政府や自治体の情報公開	14. その他	15. 特にない	16. わからない
		全体	N 1,000 % 100.0	98 9.8	33 3.3	50 5.0	166 16.6	25 2.5	5 0.5
男性	N 500 % 100.0	37 7.4	19 3.8	24 4.8	90 18.0	16 3.2	3 0.6	141 28.2	79 15.8
	女性	N 500 % 100.0	61 12.2	14 2.8	26 5.2	76 15.2	9 1.8	2 0.4	110 22.0

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q2. 今後医療費が増大した場合、健康保険で受けられる医療サービスの水準と、その費用の負担の関係について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。（1つだけ）

表C2 健康保険の受益と負担の関係について

Q2		全体	1. 今後、多少負担が増えても、現在の健康保険で受けられる医療サービスの水準を維持するべきだ	2. これ以上負担が増えないように、健康保険で受けられる医療サービスの水準をやや抑え気味にするべきだ	3. 負担を低くするために、健康保険で受けられる医療サービスの水準を抑制していくべきだ	4. わからない
全体	N	990	399	250	113	228
	%	100.0	40.3	25.3	11.4	23.0
男性	N	498	206	120	61	111
	%	100.0	41.4	24.1	12.3	22.3
女性	N	492	193	130	52	117
	%	100.0	39.2	26.4	10.6	23.8

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q3. あなたは、今後、社会保障費の増大を抑制するため、政府が取り組みを強化するべきだと思うものはどれですか。（いくつでも）

表C3 政府が強化すべき取り組みについて

Q3	全体	1. 予防活動や定期的な健康診断の受診など、本人が病気や要介護にならないような行動を評価する制度（健康保険料や介護保険料や自己負担割合の軽減など）	2. 健診を受けない行動、疾病や予防活動を行わない等、病気や要介護を避けようとするような行動にペナルティを与える制度（健康・介護保険料の増額や自己負担割合	3. 甘味の炭酸飲料や塩分を多く含む加工食品等に対して、疾病予防の見地から税金を課し、それらの食品等の摂取を抑制するように誘導する制度	4. 病院・診療所の治療成績や費用を情報公開し、患者が自分の判断で医療機関を選べるシステムの推進	5. DNA など遺伝子レベルでの検査や治療の拡大と推進	6. AI や ICT 技術、ロボット等の導入による、医療・福祉のコンピュータ化、情報化、ロボット化の推進	7. その他	8. 特にない	9. わからない



				の引き上げなど)							
全体	N	1,000	535	123	130	297	156	128	16	72	225
	%	100.0	53.5	12.3	13.0	29.7	15.6	12.8	1.6	7.2	22.5
男性	N	500	259	79	67	152	83	75	10	42	100
	%	100.0	51.8	15.8	13.4	30.4	16.6	15.0	2.0	8.4	20.0
女性	N	500	276	44	63	145	73	53	6	30	125
	%	100.0	55.2	8.8	12.6	29.0	14.6	10.6	1.2	6.0	25.0

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

Q4. あなたが、カウンセリングや心理相談など「心の健康」に関する治療や相談について、これまでもっとも多く経験したのものについてあてはまるものをお答えください。

表C4 心の健康に関する相談・治療の経験について

Q4		全体	1. 公立の医療機関（病院等）で治療や相談をしたが、ある程度満足であった	2. 公立の医療機関（病院等）で治療や相談をしたが、あまり満足できなかった	3. 私立の医療機関（病院等）で治療や相談をしたが、ある程度満足であった	4. 公的な医療機関（病院等）で治療や相談をしたが、あまり満足できなかった	5. 公立の相談機関（センター、相談所）で相談をしたが、ある程度満足であった	6. 公立の相談機関（センター、相談所）で相談をしたが、あまり満足できなかった	7. 私立や民間の相談機関（センター、相談所）で相談をしたが、ある程度満足であった	8. 私立の民間相談機関（センター、相談所）で相談をしたが、あまり満足できなかった	9. これまで、カウンセリングや心理相談など「心の健康」に関する治療や相談は、受けたことはない
全体	N	1,000	40	29	37	39	14	22	19	14	846
	%	100.0	4.0	2.9	3.7	3.9	1.4	2.2	1.9	1.4	84.6
男性	N	500	28	16	19	19	7	9	10	6	415
	%	100.0	5.6	3.2	3.8	3.8	1.4	1.8	2.0	1.2	83.0
女性	N	500	12	13	18	20	7	13	9	8	431

	%	100.0	2.4	2.6	3.6	4.0	1.4	2.6	1.8	1.6	86.2
--	---	-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q5. あなたは、以下にあげる健康法や病気の治療法に関する情報源で、ある程度信用している情報源はどれですか。（いくつでも）

表C5 信用している情報源について

Q5		全体	1. NHKで放送されるテレビ・ラジオの健康番組での健康法や病気の治療法に関する情報	2. 民法番組で放送されるテレビ・ラジオの健康番組での健康法や病気の治療法に関する情報	3. 新聞の健康法や病気の治療法に関する情報記事	4. 一般の雑誌・週刊誌などの健康法や病気の治療法に関する情報記事	5. 健康専門雑誌の健康法や病気の治療法に関する情報記事	6. 医師が執筆した健康法や病気の治療法に関する書籍	7. 一般の経験者が執筆した健康法や病気の治療法に関する書籍
全体	N	1,000	418	364	345	138	181	211	67
	%	100.0	41.8	36.4	34.5	13.8	18.1	21.1	6.7
男性	N	500	189	160	176	63	81	95	31
	%	100.0	37.8	32.0	35.2	12.6	16.2	19.0	6.2
女性	N	500	229	204	169	75	100	116	36
	%	100.0	45.8	40.8	33.8	15.0	20.0	23.2	7.2

Q5(続き)		全体	8. インターネット上の健康法や病気の治療法に関する情報（厚生労働省や専門機関の示すもの）	9. インターネット上の健康法や病気の治療法に関する情報（民間企業の示すもの）	10. インターネット上の健康法や病気の治療法に関する情報（個人のブログやSNSで発信されるもの）	11. 友人や知人の口コミでの健康法や治療法の情報	12. 広告やチラシ、DMによって提供される健康法や病気の治療法に関する情報	13. その他	14. 特にない
全体	N	1,000	210	81	72	129	49	6	278
	%	100.0	21.0	8.1	7.2	12.9	4.9	0.6	27.8
男性	N	500	116	49	40	64	30	1	164
	%	100.0	23.2	9.8	8.0	12.8	6.0	0.2	32.8
女性	N	500	94	32	32	65	19	5	114
	%	100.0	18.8	6.4	6.4	13.0	3.8	1.0	22.8

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q6. ガンや難病などに関して、いわゆる代替療法や民間療法（自宅で独自に食材摂取や手当を行うこと）について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（1つだけ）

表C6 代替医療や民間療法に関する考えについて

Q6		全体	1. 代替療法や民間療法は根拠が希薄で、自分なら選択しないと思う	2. 代替療法や民間療法は根拠が希薄だが、自分なら選択するかもしれない	3. 代替療法や民間療法はそれなりに効果を経験した人がいると思うので、自分なら選択するかもしれない	4. 代替療法や民間療法にはまだ医学では解明できない有効な効果が含まれていると思うので、自分なら選択すると思う	5. わからない	6. 特にな
全体	N	993	257	83	76	32	422	123
	%	100.0	25.9	8.4	7.7	3.2	42.5	12.4
男性	N	496	121	43	40	22	202	68
	%	100.0	24.4	8.7	8.1	4.4	40.7	13.7
女性	N	497	136	40	36	10	220	55
	%	100.0	27.4	8.1	7.2	2.0	44.3	11.1

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q7. 未来型の医療として、あなたがイメージできるのは、次のうちどれですか。

表C7 未来型医療のイメージについて

Q7		全体	1. 待ち時間ゼロでも受診できる医療機関	2. 全く家から出なくとも、精密な検査や診療、治療が受けられること	3. 治療や手術などの期間や時間が大幅に短縮されること（1回や1日で完治など）	4. 治療や手術、検査などで全く痛みを感じないようなことができること	5. 自分の遺伝子から健康な臓器を複製し、病気になった部分と差し替えることができること	6. 常に日常生活の中から身体の情報を収集し、自覚症状が出る前に疾病の警告が得られること	7. 老化をコントロールし、長期間にわたって若々しい身体の状態が維持される技術
全体	N	1,000	383	222	352	378	246	214	195
	%	100.0	38.3	22.2	35.2	37.8	24.6	21.4	19.5
男性	N	500	182	130	183	192	147	103	108
	%	100.0	36.4	26.0	36.6	38.4	29.4	20.6	21.6
女性	N	500	201	92	169	186	99	111	87

	%	100.0	40.2	18.4	33.8	37.2	19.8	22.2	17.4
--	---	-------	------	------	------	------	------	------	------

Q7(続き)		全体	8. 視力や聴力、筋力を代替する超小型ハイテク機器を身体に埋め込む技術	9. 人に代わって、AIやロボットが診察する病院の登場	10. 病院ではなく自宅で、自分で治療を行うことができる機器の登場	11. その他	12. 特にない	13. わからない
全体	N	1,000	140	116	120	6	68	157
	%	100.0	14.0	11.6	12.0	0.6	6.8	15.7
男性	N	500	75	65	71	4	44	76
	%	100.0	15.0	13.0	14.2	0.8	8.8	15.2
女性	N	500	65	51	49	2	24	81
	%	100.0	13.0	10.2	9.8	0.4	4.8	16.2

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q8. 医療技術や製薬技術の進歩のために、あなたの体の情報や診療・検査結果のデータを第三者が利用することについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（1つだけ）

表C8 医療データの第三者利用について

Q8		全体	1. 個人が特定されないのであれば、予め同意がなくともDNA（遺伝子）情報を含む様々なデータを自由に使って、医療・製薬技術の開発に利用してもよいと思う。	2. 個人が特定されないのであれば、予め同意をしたもとで、DNA（遺伝子）情報を含む様々なデータを自由に使って、医療・製薬技術の開発に利用してもよいと思う。	3. 個人が特定されないのであれば、DNA（遺伝子）情報以外ならば、予め同意がなくとも自由に使って、医療・製薬技術の開発に利用してもよいと思う。	4. 個人が特定されないのであれば、DNA（遺伝子）情報以外ならば、予め同意をしたもとで、自由に使って、医療製薬技術の開発に利用してもよいと思う。	5. 例え個人が特定されなくとも、個人の身体、治療にかかわるデータを第三者が利用することには反対である。	6. 特にな	7. わからない
全体	N	987	138	230	49	105	109	79	277
	%	100.0	14.0	23.3	5.0	10.6	11.0	8.0	28.1
男性	N	495	85	123	23	48	38	48	130
	%	100.0	17.2	24.9	4.7	9.7	7.7	9.7	26.3
女性	N	492	53	107	26	57	71	31	147

	%	100.0	10.8	21.8	5.3	11.6	14.4	6.3	29.9
--	---	-------	------	------	-----	------	------	-----	------

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q9. AI（人工知能）による医療診断について、あなたの考えに近い（ある程度以上同意する）ものはどれですか。（いくつでも）

表C9 AIによる医療診断について

Q9		全体	1. 根拠が明示され、結果に納得ができる	2. 待ち時間のストレスを緩和できる	3. 治療時間の短縮化が期待できる	4. 金銭的コストを改善できる	5. 人手不足の問題を解消できる	6. 地域格差の問題を解消できる	7. 間違っただ診断で不快にならなくて済む	8. 診断に対しての責任の所在に不安を感じる
全体	N	1,000	136	240	260	174	369	164	85	223
	%	100.0	13.6	24.0	26.0	17.4	36.9	16.4	8.5	22.3
男性	N	500	78	130	155	100	195	88	47	107
	%	100.0	15.6	26.0	31.0	20.0	39.0	17.6	9.4	21.4
女性	N	500	58	110	105	74	174	76	38	116
	%	100.0	11.6	22.0	21.0	14.8	34.8	15.2	7.6	23.2

Q9(続き)		全体	9. 自分の感情や状況を理解してもらえないとは思えない	10. 複雑な症例は診断しきれないと思う	11. 医師がAIに依存して本来の役割を果たせなくなる	12. 医師が人工知能を使いこなせないと思う	13. その他	14. 特にない	15. わからない
全体	N	1,000	237	221	165	83	5	42	255
	%	100.0	23.7	22.1	16.5	8.3	0.5	4.2	25.5
男性	N	500	92	100	74	37	3	26	120
	%	100.0	18.4	20.0	14.8	7.4	0.6	5.2	24.0
女性	N	500	145	121	91	46	2	16	135
	%	100.0	29.0	24.2	18.2	9.2	0.4	3.2	27.0

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q10. あなたが、次のなかで、AI（人工知能）やロボットに任せてもよいと思う診療行為はどれですか。（いくつでも）

表C10 AIに任せてもよい診療行為について

Q10		全体	1. 症状から訪れるべき医療機関や診療科の選択や候補の提示	2. 初診や再診の予約の受付	3. 初診の際の問診	4. 身長、体重、血圧、視力、聴力、心拍数、体温などの測定	5. 処方箋に基づく調剤や薬の給付	6. 診療や投薬の代金支払いの会計	7. 健康診断書や診療内容の証明書の発行
全体	N	1,000	376	552	259	573	187	350	316
	%	100.0	37.6	55.2	25.9	57.3	18.7	35.0	31.6
男性	N	500	198	268	133	290	104	177	164
	%	100.0	39.6	53.6	26.6	58.0	20.8	35.4	32.8
女性	N	500	178	284	126	283	83	173	152
	%	100.0	35.6	56.8	25.2	56.6	16.6	34.6	30.4

Q10(続き)		全体	8. 一般の健康診断の結果の分析と本人への告知・説明と保健指導	9. 患者からの病状や治療方針等の質問・相談に対する回答	10. 入院時の病室の巡回、体温測定、病状の確認	11. レントゲンの撮影	12. 採血	13. 注射や点滴	14. 歯科治療
全体	N	1,000	91	53	89	171	49	31	14
	%	100.0	9.1	5.3	8.9	17.1	4.9	3.1	1.4
男性	N	500	56	33	45	95	29	20	11
	%	100.0	11.2	6.6	9.0	19.0	5.8	4.0	2.2
女性	N	500	35	20	44	76	20	11	3
	%	100.0	7.0	4.0	8.8	15.2	4.0	2.2	0.6

Q10(続き)		全体	15. 外科手術（開腹を伴うもの）	16. 死亡の判定	17. ガンの告知と治療方針の説明	18. その他	19. 特にない	20. わからない
全体	N	1,000	19	17	22	8	61	165
	%	100.0	1.9	1.7	2.2	0.8	6.1	16.5
男性	N	500	12	11	13	4	33	80
	%	100.0	2.4	2.2	2.6	0.8	6.6	16.0
女性	N	500	7	6	9	4	28	85
	%	100.0	1.4	1.2	1.8	0.8	5.6	17.0

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（%）を表す。

Q11. 昨年のお宅の世帯年収は、合計でいくらぐらいですか。（○は1つだけ）

表 C11 昨年のお宅の世帯年収について

Q11		全体	1. 200 万円未満	2. 200 ～ 400 万円未満	3. 400 ～ 600 万円未満	4. 600 ～ 800 万円未満	5. 800 ～ 1,000 万円未満	6. 1,000 万円以上	7. 1,000 ～ 1,500 万円未満	8. 1,500 万円以上
全体	N	938	97	331	263	133	70	22	14	8
	%	100.0	10.3	35.3	28.0	14.2	7.5	2.4	1.5	0.9
男性	N	482	49	156	136	77	40	12	8	4
	%	100.0	10.2	32.4	28.2	16.0	8.3	2.5	1.7	0.8
女性	N	456	48	175	127	56	30	10	6	4
	%	100.0	10.5	38.4	27.9	12.3	6.6	2.2	1.3	0.9

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す

Q12. あなたの現在の健康状態はいかがですか。（1つだけ）

表C12 現在の健康状態について

Q12		全体	1. よい	2. まあよい	3. ふつう	4. あまりよくない	5. よくない
全体	N	952	115	224	492	108	13
	%	100.0	12.1	23.5	51.7	11.3	1.4
男性	N	477	49	113	241	66	8
	%	100.0	10.3	23.7	50.5	13.8	1.7
女性	N	475	66	111	251	42	5
	%	100.0	13.9	23.4	52.8	8.8	1.1

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は全体に対する比率（％）を表す。

## D. 未来型医療に関するアンケート調査票



問1 あなたが、未来のあるべき姿と比較して、現在の日本の状況について、ある程度満足に近いレベルまで達成されていると思ものは、どれですか。(〇はいくつでも)

- |                 |                 |             |
|-----------------|-----------------|-------------|
| 1. 高齢者福祉        | 2. IT、通信技術      | 3. 車の安全運転技術 |
| 4. 地球温暖化対策      | 5. 自然災害に対する防災対策 | 6. 選挙・政治制度  |
| 7. 医療・治療技術      | 8. 男女平等         | 9. 子育て支援    |
| 10. 裁判制度        | 11. マスコミの報道姿勢   | 12. 救急搬送    |
| 13. 政府や自治体の情報公開 | 14. その他 ( )     | 15. 特にない    |
| 16. わからない       |                 |             |

問2 今後医療費が増大した場合、健康保険で受けられる医療サービスの水準と、その費用の負担の関係について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。(〇は1つだけ)

- |  |
|--|
| 1. 今後、多少負担が増えても、現在の健康保険で受けられる医療サービスの水準を維持すべきだ      |
| 2. これ以上負担が増えないように、健康保険で受けられる医療サービスの水準をやや抑え気味にするべきだ |
| 3. 負担を低くするために、健康保険で受けられる医療サービスの水準を抑制していくべきだ        |
| 4. わからない   |

問3 あなたは、今後、社会保障費の増大を抑制するため、政府が取り組みを強化するべきだと思うものはどれですか。(〇はいくつでも)

- |   |
|---|
| 1. 予防活動や定期的な健康診断の受診など、本人が病気や要介護にならないような行動を評価する制度(健康保険料や介護保険料や自己負担割合の軽減など)               |
| 2. 健診を受けない行動、疾病や予防活動を行わない等、病気や要介護を避けようとしないうような行動にペナルティを与える制度(健康・介護保険料の増額や自己負担割合の引き上げなど) |
| 3. 甘味の炭酸飲料や塩分を多く含む加工食品等に対して、疾病予防の見地から税金を課し、それらの食品等の摂取を抑制するように誘導する制度                     |
| 4. 病院・診療所の治療成績や費用を情報公開し、患者が自分の判断で医療機関を選べるシステムの推進  |
| 5. DNAなど遺伝子レベルでの検査や治療の拡大と推進   |
| 6. AIやICT技術、ロボット等の導入による、医療・福祉のコンピュータ化、情報化、ロボット化の推進                                      |
| 7. その他 ( )  |
| 8. 特にない   |
| 9. わからない  |

問4 あなたが、カウンセリングや心理相談など「心の健康」に関する治療や相談について、これまで経験したものはどれですか。(〇はいくつでも)

1. 公立の医療機関（病院等）で治療や相談をしたが、ある程度満足であった
2. 公立の医療機関（病院等）で治療や相談をしたが、あまり満足いかなかった
3. 私立の医療機関（病院等）で治療や相談をしたが、ある程度満足であった
4. 公的な医療機関（病院等）で治療や相談をしたが、あまり満足いかなかった
5. 公立の相談機関（センター、相談所）で相談をしたが、ある程度満足であった
6. 公立の相談機関（センター、相談所）で相談をしたが、あまり満足いかなかった
7. 私立や民間の相談機関（センター、相談所）で相談をしたが、ある程度満足であった
8. 私立の民間の相談機関（センター、相談所）で相談をしたが、あまり満足いかなかった
9. これまで、カウンセリングや心理相談など「心の健康」に関する治療や相談は、受けたことはない

問5 あなたは、以下にあげる健康法や病気の治療法に関する情報源で、ある程度信用している情報源はどれですか。（○はいくつでも）

1. NHKで放送されるテレビ・ラジオの健康番組での健康法や病気の治療法に関する情報
2. 民放番組で放送されるテレビ・ラジオの健康番組での健康法や病気の治療法に関する情報
3. 新聞の健康法や病気の治療法に関する情報記事
4. 一般の雑誌・週刊誌などの健康法や病気の治療法に関する情報記事
5. 健康専門雑誌の健康法や病気の治療法に関する情報記事
6. 医師が執筆した健康法や病気の治療法に関する書籍
7. 一般の経験者が執筆した健康法や病気の治療法に関する書籍
8. インターネット上の健康法や病気の治療法に関する情報（厚生労働省や専門機関の示すもの）
9. インターネット上の健康法や病気の治療法に関する情報（民間企業の示すもの）
10. インターネット上の健康法や病気の治療法に関する情報（個人のブログやSNSで発信されるもの）
11. 友人や知人の口コミでの健康法や治療法の情報
12. 広告やチラシ、DMによって提供される健康法や病気の治療法に関する情報
13. その他（            ）
14. 特になし

問6 がんや難病などに関して、いわゆる代替療法や民間療法（自宅で独自に食材摂取や手当を行うこと）について、あなたの考えに最も近いものをお答えください。（○は1つだけ）

1. 代替療法や民間療法は根拠が希薄で、自分なら選択しないと思う
2. 代替療法や民間療法は根拠が希薄だが、自分なら選択するかもしれない
3. 代替療法や民間療法はそれなりに効果を経験した人がいると思うので、自分なら選択するかもしれない
4. 代替療法や民間療法にはまだ医学では解明できない有効な効果が含まれていると思うので、自分なら選択すると思う
5. わからない

6. 特にない

問7 未来型の医療として、あなたイメージできるのは、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

1. 待ち時間ゼロでいつでも受診できる医療機関
2. 全く家から出なくとも、精密な検査や診療、治療が受けられること
3. 治療や手術などの機関や時間が大幅に短縮されること（1回や1日で完治など）
4. 治療や手術、検査などで全く痛みを感じないようにできること
5. 自分の遺伝子から健康な臓器を複製し、病気になった部分と差し替えることができること
6. 常に日常生活の中から身体の情報収集し、自覚症状が出る前に疾病の警告が得られること
7. 老化をコントロールし、長期間にわたって若々しい身体の状態が維持される技術
8. 視力や聴力、筋力を代替する超小型ハイテク機器を身体に埋め込む技術
9. 人に代わって、AIやロボットが診察する病院の登場
10. 病院ではなく自宅で、自分で治療を行うことができる機器の登場
11. その他（ )
12. 特にない
13. わからない

問8 医療技術や製薬技術の進歩のために、あなたの体の情報や診療・検査結果のデータを第三者が利用することについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(〇は1つだけ)

1. 個人が特定されないのであれば、予め同意がなくともDNA（遺伝子）情報を含む様々なデータを自由に使って、医療・製薬技術の開発に利用してもよいと思う。
2. 個人が特定されないのであれば、予め同意をしたもとの、DNA（遺伝子）情報を含む様々なデータを自由に使って、医療・製薬技術の開発に利用してもよいと思う。
3. 個人が特定されないのであれば、DNA（遺伝子）情報以外ならば、予め同意がなくとも自由に使って、医療・製薬技術の開発に利用してもよいと思う。
4. 個人が特定されないのであれば、DNA（遺伝子）情報以外ならば、予め同意をしたもとの、自由に使って、医療製薬技術の開発に利用してもよいと思う。
5. 例え個人が特定されなくとも、個人の身体、治療にかかわるデータを第三者が利用することには反対である。
6. 特にない
7. わからない

問9 AI（人工知能）による医療診断について、あなたの考えに近い（ある程度以上同

意する)ものをお選びください。(○はいくつでも)

- |                               |                        |
|-------------------------------|------------------------|
| 1. 根拠が明示され、結果に納得ができる          | 2. 待ち時間のストレスを緩和できる     |
| 3. 治療時間の短縮化が期待できる             | 4. 金銭的コストを改善できる。       |
| 5. 人手不足の問題を解消できる              | 6. 地域格差の問題を解消できる       |
| 7. 間違った診断で不快にならなくて済む          | 8. 診断に対しての責任の所在に不安を感じる |
| 9. 自分の感情や状況を理解してもらえないと思えない    | 10. 複雑な症例は診断しきれないと思う   |
| 11. 医師がA I に依存して本来の役割を果たせなくなる | 12. 医師が人工知能を使いこなせないと思う |
| 13. その他 ( )                   | 14. 特にない               |
| 15. わからない                     |                        |

問 10 あなたが、次のなかでA I (人工知能) やロボットに任せてもよいと思う診療行為はどれですか。(○はいくつでも)

- |                                 |           |                   |           |
|---------------------------------|-----------|-------------------|-----------|
| 1. 症状から訪れるべき医療機関や診療科の選択や候補の提示   |           |                   |           |
| 2. 初診や再診の予約の受付                  |           |                   |           |
| 3. 初診の際の問診                      |           |                   |           |
| 4. 身長、体重、血圧、視力、聴力、心拍数、体温の測定など   |           |                   |           |
| 5. 処方箋に基づく調剤や薬の給付               |           |                   |           |
| 6. 診療や投薬の代金支払いの会計               |           |                   |           |
| 7. 健康診断書や診療内容の証明書の発行            |           |                   |           |
| 8. 一般の健康診断の結果の分析と本人への告知・説明と保健指導 |           |                   |           |
| 9. 患者からの病状や治療方針等の質問・相談に対する回答    |           |                   |           |
| 10. 入院時の病室の巡回、体温測定、病状の確認        |           |                   |           |
| 11. レントゲンの撮影                    | 12. 採血    | 13. 注射や点滴         | 14. 歯科治療  |
| 15. 外科手術(開腹を伴うもの)               | 16. 死亡の判定 | 17. ガンの告知と治療方針の説明 |           |
| 18. その他 ( )                     |           | 19. 特にない          | 20. わからない |

問 11 昨年のお宅の世帯年収は、合計でいくらぐらいですか。(○は1つだけ)

- |                   |                  |                |
|-------------------|------------------|----------------|
| 1. 200万円未満        | 2. 200~400万円未満   | 3. 400~600万円未満 |
| 4. 600~800万円未満    | 5. 800~1,000万円未満 | 6. 1,000万円以上   |
| 7. 1000~1,500万円未満 | 8. 1,500万円以上     |                |

問 12 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(○は1つだけ)

- |       |         |        |            |         |
|-------|---------|--------|------------|---------|
| 1. よい | 2. まあよい | 3. ふつう | 4. あまりよくない | 5. よくない |
|-------|---------|--------|------------|---------|